

5 次のⅠ～Ⅲの設問に答えよ。

Ⅰ 次のA、Bの文章を読み、後の問に答えよ。

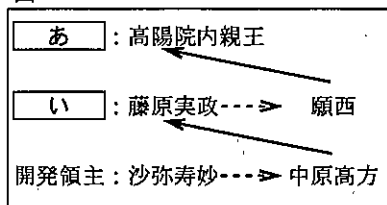
- A 8世紀に入り、律令制度による政治の仕組みもほぼ整い、租税や労役などの規定も定まった。しかし、①9世紀に入ると②国家財政の維持が困難な状態に陥るようになった。そのため政府は、823年には大宰府に（ 1 ）を、879年には③畿内に（ 2 ）を設けて、有力農民を利用した直営方式を採用し、財源の確保に努めた。
- B 初期荘園は、貴族や寺院が農民を使って開墾した土地や買収した墾田であった。743年に（ 3 ）が出されたことをきっかけに発生したが、その多くが10世紀までに衰退した。その一方で、④みずからの荘園を中央の有力者に（ 4 ）し、有力者を領主と仰ぎ、みずからは荘官となる者もあらわれた。

資料1

鹿子木*1の事

- 一、当寺の相承は、開発領主沙弥寿妙嫡々の相伝なり。
- 一、寿妙の末流の高方の時、権威を借らんがために、⑤実政卿*2を以て領家と号し、年貢四百石を以て割き分ち、高方は庄家領掌進退の預所職となる。
- 一、実政の末流の願西微力の間、国衙の乱妨を防がず。この故に願西、領家得分二百石を以て、高陽院内親王*3に寄進す。…これ則ち本家の始めなり。
- (注)：*1 肥後国鹿子木荘 *2 当時、大宰大貳を務めていた藤原実政 *3 鳥羽天皇の皇女

図



問1 （ 1 ）～（ 4 ）に当てはまる最も適切な語句を答えよ。

問2 ①について、ア～エの出来事を年代の古い順に並べよ。

ア 応天門の変 イ 阿衡の紛議 ウ 平城太上天皇の変 エ 承和の変

問3 ②について、この理由について説明せよ。ただし、「偽籍」、「正丁」という語句を用いること。

問4 ③について、この領域を解答欄の白地図中に実線で示せ。

問5 ④について、上の図は資料1の内容を模式的にまとめたものである。資料1を参考に、図の「あ」、「い」に当てはまる最も適切な語句を答えよ。

問6 ⑤について、この人物は1084年に大宰府に赴任している。次のa～dのうち、この年以前の出来事として正しいものの組合せは、ア～カのうちどれか。

a 平忠常の乱 b 応永の外寇 c 鹿ヶ谷の陰謀 d 刀伊の入寇

ア (a・b) イ (a・c) ウ (a・d)
エ (b・c) オ (b・d) カ (c・d)

Ⅱ 次の文章を読み、後の問に答えよ。

8代将軍徳川吉宗は、①綱吉以来の側用人による側近政治をやめ、町奉行に就任した旗本の大岡忠相など有能な人材を登用し、荻生徂徠らの儒学者を用いて享保の改革に取り組んだ。特に、②財政再建に取り組み、年貢の増徴をめざした。

資料2

(略) 近年山*より出候金銀も多くこれなく、世間の金銀も次第に減し申すべくに付、金銀の位を直し、世間の金銀多く成候ため、此度これを仰せつけられ候事・・・

(注)：* 金山や銀山のこと。『御触書寛保集成』

問1 ①について、資料2はこの人物が収入増の方策として実施した貨幣改鋳に関する法令の一部である。

(1) 貨幣改鋳を①に進言した勘定吟味役は誰か。

(2) 貨幣改鋳について述べた次の文章の「 」に適することばを入れ、文を完成させよ。ただし、資料2をもとにして書くこと。

①の時代は、 「 」 や、市中に流通する貨幣の量が減少したことにより財政破綻を招いた。そこで、幕府は改鋳により金の含有率を減らし、質の劣った小判を発行したが、貨幣価値の下落は物価騰貴を引き起こした。

資料3

(略) 高岩万石二付き八木百石積り差し上げらるべく候。・・・之に依りて在江戸半年充御免成され候間、緩緩休息いたし候様二仰せ出され候。・・・

「御触書寛保集成」

問2 ②に関して、資料3は、享保の改革において、財政再建のために大名に対し実施した上げ米の制について述べたものである。上げ米の制の内容とそのかわりにとった措置について、資料3をもとに、解答欄の書き出しに続けて説明せよ。

Ⅲ 次のA、Bの文章を読み、後の問に答えよ。

- A 明治期の①産業革命期に入ると、待遇改善や賃金引き上げを要求する工場労働者のストライキが始まった。これらの動きに対して、政府は労働運動を取り締まったが、その反面で、政府は労働条件を改善して労使対立を緩和しようとする立場から、日本で最初の労働者保護法である（ 1 ）を1911年に制定した。
- B ②第一次世界大戦において日本は、（ 2 ）を理由としてドイツに宣戦し、ドイツのアジアにおける根拠地と権益を接収し、さらに赤道以北のドイツ領南洋諸島の一部を占領した。その後、中国の（ 3 ）政権に③二十一カ条の要求をおこない、1915年の5月には要求の大部分を承認させた。

問1 （ 1 ）～（ 3 ）に当てはまる最も適切な語句を答えよ。

問2 ①について、1888年に発行された雑誌『日本人』が高島炭鉱の労働者の惨状を報じたが、これを発行した国権論の団体とその設立に携わった人物の組合せとして最も適切なものは、ア～エのうちどれか。

ア 民友社 — 徳富蘇峰 イ 民友社 — 三宅雪嶺

ウ 政教社 — 徳富蘇峰 エ 政教社 — 三宅雪嶺

問3 ②について、右の資料4は、1914年と1919年における、国内の生産額を示したものである。第一次世界大戦の前後で、産業構造には、どのような変化がみられたか。

資料4を参考に、その背景も明らかにして説明せよ。

問4 ③について、こうした強硬な外交は列強の反感を高めた。アメリカとの利害調整を図るため、1917年に結んだ協定の名称を答えよ。

資料4

単位：百万円

	1914(大正3年)	1919(大正8年)
農業	1,401.0	4,162.2
水産業	157.2	454.7
鉱業	156.6	514.1
工業	1,371.6	6,737.6
総額	3,086.4	11,868.6

「日本資本主義発達史年表」から作成